解消実績額　B		4,554,145	8,582,715	4,034,069	6,002,474	1,630,979	2,343,069	6,898,407	—
現在計画　C		4,554,145	8,582,715	4,034,069	6,002,474	1,630,979	2,343,069	6,898,407	6,699,503
B－A又はC－A		2,825,371	8,445,119	1,443,834	2,131,905	△ 2,935,015	1,041,116	824,205	—
資金不足額	30,981,281	26,427,136	17,844,420	13,810,351	7,807,877	6,176,898	3,833,829	0	—

備考

1　「現在計画　C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

2　資金不足解消額の平成25年度「解消実績額　B」が「当初計画　A」を下回ったのは、計画で見込んでいた５％相当の運賃改定を見送ったためである。

3　資金不足比率の状況

（単位：％）

年度／資金不足比率	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）		平成22年度（第２年度）		平成23年度（第３年度）		平成24年度（第４年度）		平成25年度（第５年度）		平成26年度（第６年度）		平成27年度（第７年度）		平成30年度（第10年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	133.5	126.8	114.5	125.7	76.2	114.0	57.8	96.9	31.9	73.6	24.4	66.6	14.8	41.5	—	—

備考

1　平成26年度及び平成27年度は、資金不足比率は経営健全化基準の20％を下回ったが、平成29年度には、一般会計補助金収入が大きく減少し、資金不足比率は再び20％を上回ることが見込まれるため、一般会計からの経営健全化出資金の繰り入れなしで安定的に資金不足比率が20％を下回る見通しが立つまで、引き続き、経営健全化団体として、計画に掲げる健全化の取組を推進する。

大阪府大阪市　自動車運送事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1　計画と具体的な措置の状況

1　計画収支との対比

・平成27年度の純損益は、計画1,024百万円に対し、実績1,194百万円となり、差引170百万円の収支好転となった。

・主な理由として、運輸収益が減少（計画　12,048百万円→実績　11,812百万円）したものの、超過勤務手当の減（計画　710百万円→実績　660百万円）などによる人件費の減や、軽油単価及び使用量の減による自動車燃料費の減（計画　795百万円→実績　676百万円）など経費を削減したことによるものである。

・一方、単年度資金過不足額については、運輸収益が減少したことなどにより、計画額の871百万円を72百万円下回る799百万円となった。

・これらの結果、資金不足比率は、計画数値128.5％を3.1ポイント下回る131.6％となった。

2　民営化に向けた取組み

民営化に関する条例等について、平成27年10月23日に「大阪市自動車運送事業の引継ぎに関する基本方針の策定を地方自治法第96条第２項の規定による議会の議決すべき事件とする条例案」が議会において可決されたことに基づき、平成28年２月16日に「大阪市自動車運送事業の引継ぎに関する基本方針の策定について」を議会に上程し、平成28年３月29日に議会にて可決された。

今後は、事業の廃止条例案の議決を経て、経営健全化計画に記載のとおり、平成30年度までに民営化を目指していく。

2　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度／区分	計画初年度の前年度	計画初年度（平成27年度）	平成28年度（第２年度）	平成29年度（第３年度）	平成30年度（第４年度）
当初計画　A		871,199	△ 3,048,972	3,805,000	14,921,000
解消実績額　B		799,214	—	—	—
現在計画　C		799,214	△ 3,048,972	3,805,000	14,921,000